

日刊建設通信新聞（2026年10月29日付14面掲載）

【オリコンサルグローバル 設計・施工監理 ニカラグアの友好橋開通で物流支障解消】

ニカラグアの友好橋 開通で物流支障解消 O C Gが設計・施工監理

オリエンタルコンサルタンツグローバル（O C G）が、詳細設計と施工監理のコンサルティングサービスを担当したニカラグア国「日本・ニカラグア友好橋」の開通式が20日に開かれた＝写真。

この橋梁は、リオ・ブランコ～シウナ間の幹線道路（国道21B号線）の一部で、首都マナグアからR A C C N（北部カリブ海自治地域）につながる交通の要だ。これまで同地域で生産される農業・畜産・林業製品の輸送路としても沿線住民の生活を支える一方、通行に危険を伴う部分もあり、地域の交通・物流のボトルネックとなっていた。特に、北部カ



リブ海自治地域は貧困指数が高く、同国政府が開発重点地域に位置付けている。

開通した橋梁は、長さ176mの鋼トラス橋で、J F E エンジニアリングが施工を担当した。式典には、ニカラグアの運輸インフラ大臣やムルク市長、荻野正裕在ニカラグア日本国特命全権大使ら両国の関係者や地元住民が参加し、橋の完成を盛大に祝った。